



SilverFast 8 ファーストステップ

LaserSoft Imaging の
スキャナーとスキャン作業のため
のプロフェッショナルソフトウェア



日本語



SilverFast 8 ファーストステップ

目次

1	スキャナー接続とソフトウェアの初期起動.....	3
2	SilverFast のアクティベーションと登録.....	5
3	スピードスタート.....	6
4	基礎設定.....	7
5	プレビューと高解像度プレビュー.....	10
6	フレーム.....	13
7	寸法と解像度.....	15
8	自動最適化.....	17
9	ズームと 1:1・HQ プレビュー.....	20
10	スキャンとバッチスキャン.....	21

この取扱説明書は、SilverFast をアナログ画像からデジタル画像への変換する時のサポートとしてお使いください。使いやすい手引書として、初めにご利用になるときにお読み使いください。特に、このソフトウェアを使い始めるときの、手引きとなります。

サンプル画像はソフトウェア SilverFast Ai Studio で処理されたものです。機能の少ないバージョンをご使用の場合、サンプル画像と誤差が出る場合もありますことをご了承ください。

1 スキャナー接続とソフトウェアの初期起動

コンピューターとスキャナーを接続してください。延長コード、USB コネクタ、または FireWire コネクタなしの短いケーブルのご使用をお勧めします。

SilverFast をインストールしてください。DVD 形式や USB スティック形式で SilverFast をお持ちの場合も、そちらからインストールできます。オンラインで SilverFast をお求めになった場合は、ダウンロード先のリンクを E メールで受け取っていただきます。いずれの場合も、当社ウェブサイト上のダウンロード領域から、登録された E メールアドレスで、ご使用の製品バージョンを使用目的に対応させるために SilverFast の最新バージョン（フルバージョン）をダウンロードしていただけます

特に SilverFast を DVD または USB スティックでお持ちの方は、起動前に、適応するダウンロードリンクサイトから最新バージョンをダウンロードされることをお勧めします。更新インストールの後、スタート画面のサービスダイアログのサポートで、マニュアル更新をお探しいただけます。ご使用のバージョンでは定期的に確認プログラムが起動していますが、ご使用になる方自身で更新プログラムを検索することもできます。



登録

以下のリンクサイトでEメールアドレスの登録をしていただけます。

www.silverfast.com/reg/jp.html

当社のウェブサイトにご登録いただくと、確認のリンクサイトが書かれたEメールが届きます。リンクをクリックして、確認し登録作業を修了してください。

ダウンロード / 更新

SilverFastのダウンロードは以下のURLよりお願いします。

www.silverfast.com/show/downloads-start/jp.html

更新されたバージョンはフルバージョンです。インストールされた古いバージョンは必要ではなくなりますが、プログラムに適應させるために、個々のスキャナーにSilverFastをそれぞれインストールしていただく必要があります。

デモバージョンがインストール済みで、フルバージョンをご使用になりたい場合は、再度フルバージョンのインストールは必要ではありません。(次章に詳細は記載されています)

SilverFastをDVDでお持ちの方で、パソコンに内蔵ドライブがない場合、上記のように初めに登録されたEメールアドレスで当社ウェブサイト内のサポート領域から登録をして、ソフトをダウンロードしてください。次のステップとしてDVDをアクティブにしていない新しいシリアルNo.を要求してください:

登録後以下のURL. でシリアルNo.の変更ができます。 www.silverfast.com/bundle

SilverFastをスタートする前には常にスキャナーをON状態にしてください。SilverFastは起動時にスキャナーを認識できます。デスクトップ上(Windows)またはDock(OSX)のSilverFast 8ショートカットで起動させてください。「SilverFastへようこそ」の画面が開きます。画像ソースの選択時と同様に、複数のソフトウェア管理の機能を備えたサービスダイアログへアクセスできます。



複数のスキャナーまたはライセンスをお持ちの方は、「画像ソース」から使用するスキャナーを選択できます。ソフトウェアを起動させるために「スタート」をクリックしてください。

2 SilverFastのアクティベーションと登録

ロック解除していない SilverFast の 1 バージョンの起動時に、シリアルライズ・ダイアログが現れます。氏名（場合によっては勤務先）とシリアルNo.を入力してください。データを入力すると、「ロック解除」のボタンがアクティブ化されます。（ライセンス保持の認証処理） SilverFast をオンラインでお求めの場合、氏名の入力を同様に行ってください。

シリアル化

ご使用のSilverFastのシリアル番号を入力して下さい。

ファーストネーム

ラストネーム

会社

シリアル番号 - - - - -

インターネットでソフトウェアライセンスが自動的にアクティブになります、そのため姓・名・シリアルNo.を入力してください。
保存されたデータの情報・データ情報の使用方法是当社のプライバシー・ポリシーをお読みください。

ロック解除

ダイアログの終了

DVD で SilverFast をお求めになった場合は、DVD をパソコンのハードディスクドライバーに挿入してください。「デモ・ライセンス」で 30 日ソフトウェア無料お試しのためのデモ・シリアルNo.をお求めいただけます。SilverFast のシリアルNo.をお持ちでない方と SilverFast を試してみたい方のみこのオプションをお使いください。

アクティブ化実行時に登録ウィンドウが開きます。お持ちの SilverFast バージョンが登録されていない場合、こちらで登録が可能です。オンラインで購入された場合には、シリアルNo.は自動的に登録されます。この登録では当社のウェブサイトからアップデートをダウンロードが出来るという特典のみでなく、当社のデータバンクにお使いのシリアルNo.を登録することになります。

シリアルNo.を発見できない場合、以下のリンクからお使いの登録アドレスへシリアルNo.をお送りします。 _

www.silverfast.com/lostserial

参考:

お使いのスキャナーを製造元へ返却・交換または個人的に返却や売却される場合には、以下のリンクより Silverfast の登録を削除していただけるようお願いいたします。 www.silverfast.com/support-form

3 スピードスタート

この説明書を熟読され、すぐにでもスキャン作業を始められたいとお考えですか？それならば、次の簡略説明書をご覧ください。項目が箇条書きになっています。

1. SilverFast 起動とアクティブ化
2. 透過光 / 入射光 の選択
3. ポジ / コダクローム / ネガ の選択
4. 必要に応じてカラー深度変更
5. 解像度設定
6. プレビュースキャンのスタート
7. ツールのアクティブ化 (iSRD, Multi-Exposure)
8. フレーム > フレーム検索 > フィルムホルダータイプの選択
9. 画像自動操作の解除
10. 条件により、全てのフレームを使用する
11. スキャンをスタート (バッチスキャンのためにロングクリック)

4 基礎設定

SilverFast ではプレビュースキャンの前の設定がリスト・アップできます。この説明書は WorkflowPilot の赤いアイコンで確認できる SilverFast 内のマニュアルモードに関するものです。スタート後に青い WorkflowPilot のシンボルが表示されたら、マニュアルモードに変更するために、シンボルをクリックしてください。



透過光性のフラットベッドスキャナーでは、透過光スキャンまたは入射光スキャンが選択できます。「入射光」とはアナログ写真（紙片に印刷されている）のスキャンの意味です。リバーサルフィルム（ディアス）、コダクローム画像、ネガフィルム、フレーム付き 35mm フィルムのスキャンには「透過光」を選択してください。フラットベッドスキャナーでの透過性スキャン作業ではスキャナーのカバー裏の部分（平面状）を外してください。

純粋なフィルムスキャナーには透明なオリジナルのスキャンが可能ですので、反射モードの設定は出来ません。フィルムスキャンにはソフトウェアでフィルムホルダータイプを選択してください。

次に、コダクロームのために SE Plus Ai Studio バージョンに使用した設定を使いポジフィルムまたはコダクロームフィルムまたはネガフィルムを選択してください。

「ポジティブ」とは通常のリバーサルフィルム（ディアス）のための設定です。「コダクローム」ではコダクロームのリバーサルフィルム（ディアス）を選択してください。通常フレームは厚めの紙フレームです。選択ではブルーステッチを防ぐ処理を施した特別なカラープロファイルが自動的にロードされ、このブルーステッチに関することを加味せずコダクローム画像を作成できます。

ネガフィルムのスキャン作業のために「ネガティブ」設定で作業を進めてください。同時にNegaFixダイアログツールを開いてください。NegaFixダイアログで製造元の選択とISO値のフィルムタイプのフィルムタイプの選択ができます。この選択により、ネガフィルムネガティブフィルムからポジティブフィルム変換時に35mmフィルムのオレンジマスクを正確に除去することができます。当社のHDR-RAWデータフォーマットとHDRi-RAWデータフォーマットをご使用いただくと、次の作業のためにこのインフォが保存されます。作業に必要なフィルムタイプがリストに存在しない場合、類似するフィルムタイプかスタンダードのプロフィールを選択してください。

製造元: その他, フィルムタイプ: その他, ISO/a: 標準。 Ai Studio ではダイアログのエキスパートのカテゴリーでプロフィールへの作業が可能で、独自のプロフィールを作成することもできます。ドクターフット（帽子）のボタンをクリックしてダイアログのエキスパートカテゴリーを開いてください。



プレビュースキャンの前の最終ステップとしてカラー深度の設定をしてください。カラー深度はカラーチャンネル毎のビット数を表します。カラー画像はそれぞれ8ビットデータと16ビットデータの3つのカラーチャンネル R (赤), G (緑), B (青) から組み合わせることができます。白黒画像は8ビットデータまたは16ビットデータからできていますので、SilverFast に異なるカラー深度を設定できます。 カラー深度が深いほどデータは大きくなります。

SilverFastは常に可能な限りの大きさのカラー深度をスキャナー使用のために備えています。SilverFastのバージョンによってチャンネル毎に16ビットまたは8ビットデータを使い分けることができます。SEバージョンとSE PlusバージョンにはRAWデータのために16ビットを用意し、Ai Studioは16ビットRAWデータでも16ビットデータでも作業が可能です。

16ビットデータは8ビットデータ（カラーチャンネル毎に256）より多くのカラーレベルを備えています（カラーチャンネル毎に65536）。SilverFastは作業画像にカラーチャンネル毎に16ビット出力を使用します。スキャン後に作業を続けられる場合、カラーチャンネル毎16ビットのために48ビットのカラー深度をご使用ください。カラーレベルの容量をフルに堪能いただけます。SilverFastで画像スキャンを行うとき、カラーチャンネル毎8ビットのためには24ビットカラー深度をご使用いただけるとさらに作業完成にご満足いただけます。24ビットはさらに作業を必要しないデジタル画像のために通常のカラー深度です。

例:

48>24ビットはSilverFastでは標準の設定です。この設定でSilverFastは最大データ(全体で48ビット・カラーチャンネル毎に16ビット)をスキャナーからピックアップし、48ビットで作業をします。画像は合計で24ビット(それぞれのカラーチャンネル赤・緑・青に8ビット)に仕上げます。

Ai Studioにカラーチャンネル16ビット出力には、16ビットでサポートする3種類のデータフォーマットが用意されています。: TIFF, PSD, JP2。48ビットの画像作業にはご使用をお控えください。

カラー画像のためにはオプションで48ビットを選択してください。カラーチャンネル毎16ビットの状態を保持し、カラーチャンネルの8ビットのためには48>24ビットを選択してください、標準画像作業プログラムで読み込みが可能です。

白黒画像のためには最大出力から対応する16ビットを選択し、16>8ビットを互換性を持たせるために選択してください。

SilverFastはオプションで線画のために16>1ビットをお勧めします。

更にSilverFastのSE PlusバージョンとAi StudioバージョンにはHDRデータフォーマットとHDRi RAWデータフォーマットが搭載されています。このRAWデータフォーマットを出力で使用される場合、フル48ビットデータ容量で、画像クオリティを失わず保存できます。画像作業のすべての機能はスキャンのためにアクティブ化されます。画像は変更されず、コンピュータにオリジナルと同じ状態で残すことができます。

ネガフィルムはネガフィルムとして変更なく保存され、リバーサルフィルムは標準画像表示プログラムでは暗く表示されます。HDR画像とHDRi画像は次の作業でSilverFast HDR (Studio)で表示でき、このRAWデータ画像のフルデータ容量で呼び出せます。このオリジナルデータはHDR (Studio)ソフトウェアでも変更されま

せん。HDR(Studio)ソフトウェアは本来のデータの影響を受けず、それぞれの画像に追加で事前設定を使用することができます。このWorkflowは「損失ナシ」とされます。

HDR と HDRi の違いは多くのスキャナーの赤外線処理チャンネルからのキズ・ホコリ除去処理のためのデータに見ることができます。HDRi データには赤外線チャンネルからの追加データが搭載され、画像のキズ・ホコリ除去処理のための HDR(Studio)ソフトウェアに使用されます。画像処理作業の全工程は、スキャナー機能の違いと時間差に左右されません。RAW データフォーマットのためには常に 16 ビットデータが使用されます。

- ・赤外線チャンネルからのカラー画像 RAW データのためには 64 ビット HDRi
- ・赤外線チャンネルなしの RAW データのためには 48 ビット HDR
- ・赤外線チャンネルの白黒画像のためには 32 ビット HDRi
- ・赤外線チャンネルなしの RAW データのためには 16 ビット HDR

この損失ナシのRAWデータWorkflowはアーカイブWorkflowとして、WorkflowPilotに存在します。Ai StudioソフトウェアとHDR Studioソフトウェアのコンビネーションは「アーカイブ・シリーズ」といいます。このアーカイブWorkflowのために機能が少ないパッケージとして「Archive Suite SE」バージョンがあり、SE PlusソフトウェアとHDRソフトウェアで併用できます。

幾つかのベースとなる設定がありプレビュー表示はスタートできます。

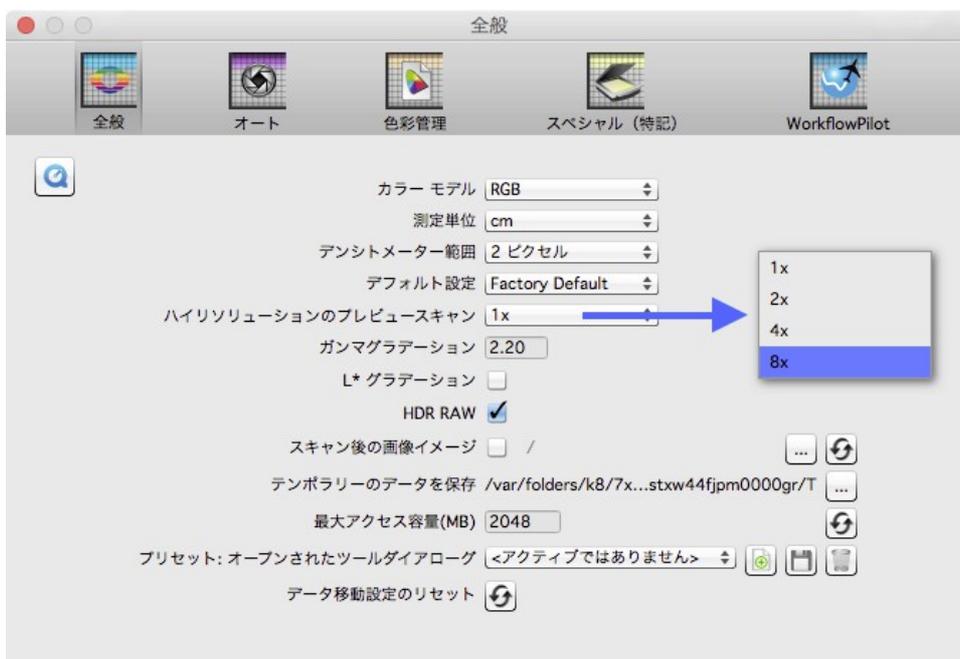
5 プレビューと高解像度プレビュー



スキャン方法。プレビュー作業時の、フラットベッドスキャナー使用、自動機能なしのフィルムスキャン作業、自動機能付きのフィルムスキャン。

フラットベッドスキャナーで作業をされるときはプレビュー画面上部にあるバーのプレビュースキャンボタンをクリックして呼び出してください。フラットベッド全体が低解像度でスキャンされ、プレビューに作成されます。

Ai Studioで高解像度スキャンをアクティブ化し、洗濯された解像度を実行するには、OSXではメニューの SilverFast 8 > 設定 > 一般、Windowsではメニューの 画像 > 設定 > 一般。作業開始時には作業速度が長く感じられますが、最終的に作業速度が短いと感じられます。: 自動画像最適化処理もフレームサーチ機能 IFF+ (Intelligent Frame Finding) も正確さを問うのであれば、データ容量は大きくなります。高解像度のプレビュー画面をご使用の場合は、プレビュースキャンの前に解像度を設定してください。解像度に関しては7章をご覧ください。



自動処理なしのフィルムスキャンの場合も、プレビュー画面上部にあるバーのプレビュースキャンボタンでプレビュー画面を呼び出してください。作業中の画像がプレビューでスキャンされます。

自動処理でのフィルムスキャンには追加の機能が用意されています。: オーバービュー・プレビュー画面の左にある縦方向のツールバーにオーバービュースキャンのボタンがあります。オーバービュースキャンはフォルダー内にある画像を通してオーバービューに追加のウィンドウを開きます。選択した最終スキャンの画像をこのオーバービューでマークできます。



SilverFast がプレビューのためにスキャンする画像をマークできるフレームが追加で用意されています。オーバービュービューダイアログは同時に作業している画像のツールを変更できます。

SilverFast Ai Studio には 画像を直接JobManagerに直移行できる選択機能があります。（「選択を追加」ボタン） バッチ処理を開始する前に、それぞれの画像の最適化が個々で行えます。

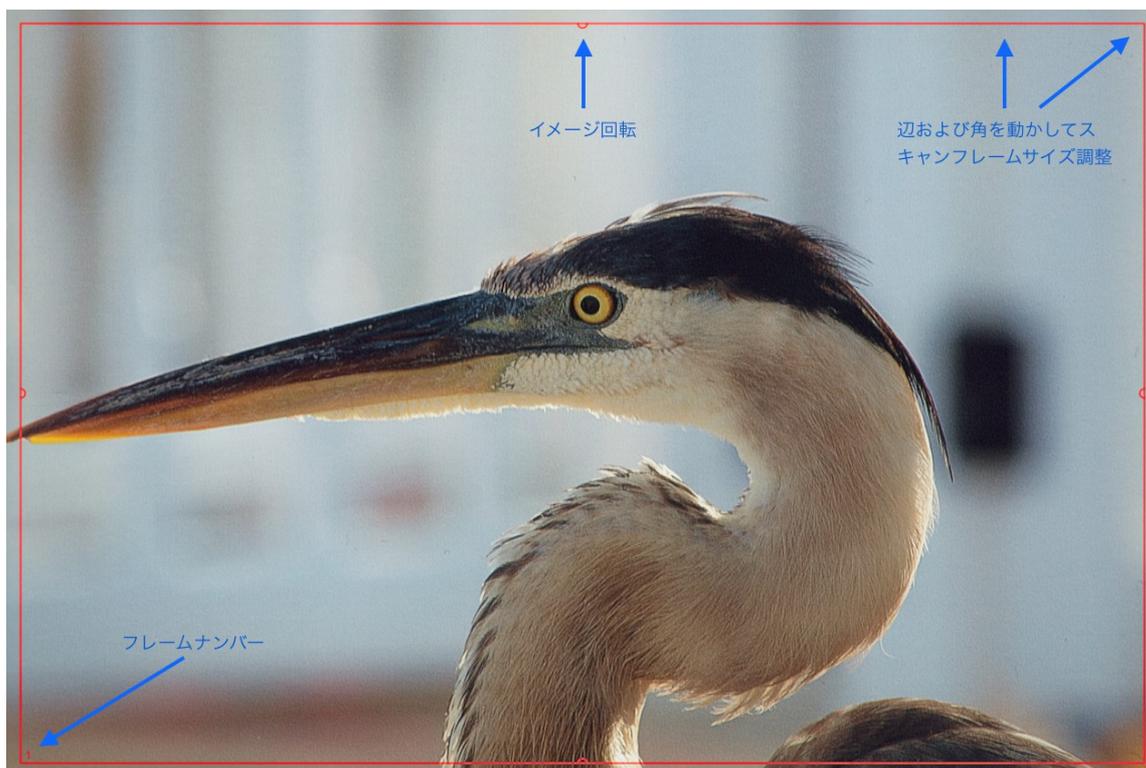
ヒント:

SF-200・SF-210フォルダーのNikon 35 mmスキャナー: フォルダーは画像に一方向だけ移行することができるため、このフォルダーにはオーバービューダイアログが用意されています。

Refecta DigiDia 5000 と 6000 の作業ではオーバービューダイアログまたはマガジン設定をした設定に存在します。オーバービュースキャンはこのマシンでは自動的にスタートせず、マガジンの種類により、作業時間を考えることができます。設定 > スペシャルで自動オーバービュースキャンがアクティブ化され、再度 デアクティブ化できます。

6 フレーム

プレビューには常に赤いフレームが表示されます。このフレームはスキャンされた領域をマークし、作業完了したばかりのフレームを表示します。赤いフレームはスキャンされた画像と同じ意味を持ちます。



画像の1辺をクリックして、引くことでマウスでフレームの大きさを変更することができます。マウスでフレームの角をクリックして引っ張ると、2ページを同時に変更できます。ページの半分の半円をクリックして、回転させるとフレームも回転させることができます。

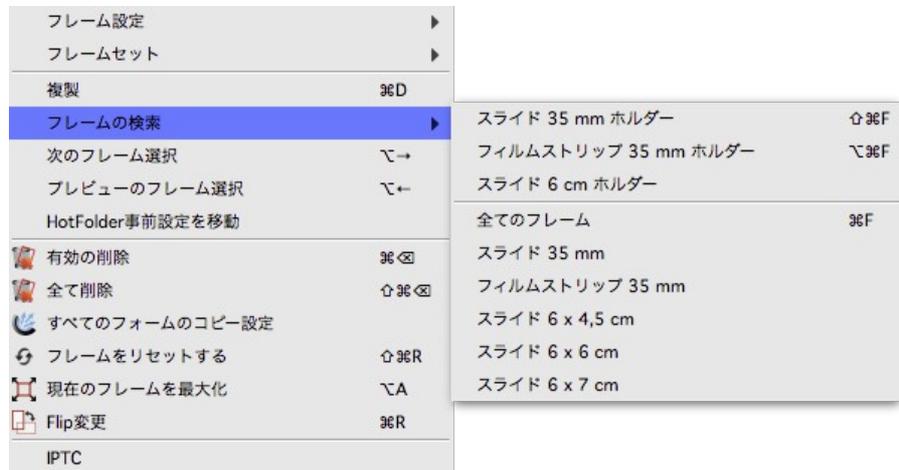
1:1 プレビューと HQ プレビューが固定され調整されていない場合、フレームはプレビューとズームされたプレビューで変更が可能です。HDRまたはHDRiフォーマットを選択された場合、画像の回転ができません。赤いフレームを適応させてください。

特にネガフィルムは、変更のための全ての画像情報が赤いフレーム内に用意されているので、フレームを正確に指定することが重要です; 画像周囲の黒いエッジは本来の画像より画像を明るくします。

フィルムスキャナーでは、おおよそ1プレビューにつき一枚の画像を取ることができますが、次の作業画像のためにフォルダーを対応するポジションに動かします。

反対にフラットベッドスキャナーとフィルムフォルダーでは複数のリバーサルフィルムまたは35mmフィルムを取り入れることができます。この場合、ソフト内の対応するフォルダーのためにフレーム検索の IFF+ を使用できます。フレーム検索機能は一枚の画像につき一つのフレームを作成します。特にフラットベッドスキャナーのフレーム検索機能 IFF+ では作業時間を節約することができます。ここでは変更のための赤いフレームはアクティブなフレームです。バッチスキャンではアクティブでないフレームも含め全てのフレームがスキャンできます。

フレーム検索のために「フレーム」と「フレームの検索」をクリックしてください。設定した対応するフォルダーを選択してください。35mmリバーサルフィルムフォルダーを使用されるとき、「リバーサルフィルム 35mm」を選んでください。フレーム検索機能は必要なフレームを作成します。



プレビューの説明で読まれたように、プレビュースキャンを行う前に Ai Studio で高解像度のプレビューをアクティブ化できます。フレームを正確に認識されるためのデータが用意されています。

ヒント:

アクティブなフレームを設定すると、フレーム検索を開始できます。初めのフレームの設定でフレーム作成ができます。これにより同じ設定はそれぞれのフレームに対応しないことが分かります。いくつかのツールで自動的に作業が進められ、最適な設定が分かります。詳しくは8章をご覧ください。

まずフレーム検索を使用されるとき、フレームメニューとアクティブフレームの設定をすべてのフレームに使用することができます。フラットベッド全体のためにズーム処理されていない表示は両方の処理に必要です。



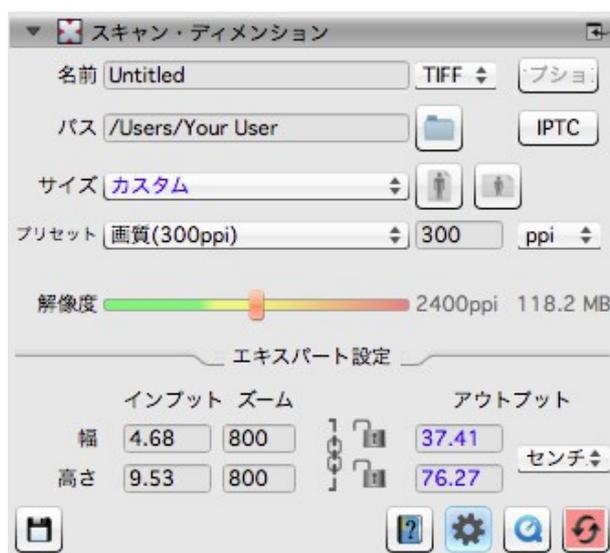
ほとんどのスキャン作業では、追加処理としてフレーム検索機能にマニュアルで新しいフレームを作成することができます。

フレームを引っ張る処理: フレームナシの領域内でプレビュー・ウィンドウをマウスクリックし、マウスを押したまま、新しいフレームにマウスを引いてください。新しいフレームを作成したい場合は、ここで押していたマウスを放してください。

フレームコピー: パソコンキーボードのALTキーを押しながらフレームを移動させることもできます。フレームを放すとフレームのコピーが新しいポジションに作成されます、このコピーフレームの設定内容は元のフレームの設定と同じになります。

7 寸法と解像度

ツールドックにお使いのスキャンの設定のために重要なダイアログがあります。



こちらでスキャンのためのデータのフォーマットを選択し、解像度を設定し、保存先と同様、画像に名前を付けてください。「フォーマット」で出力時の値を設定してください。「ユーザー設定」を選び、プレビュー内に赤いフレームのフォーマットから出力フォーマットを選んでください。

解像度は、さまざまな処理機能に影響します。

事前設定: 事前設定では希望の出力解像度が設定できます。プリントアウトのためにも重要です。ご自宅でプリントアウトする場合には 300 ppi までの解像度値ができる事から、スタンダードとされています。解像度コントローラーはスキャナーから解像度を提案します。それにより作業のために内挿する必要がなくなります。

このファクターのコンビ作業の例:

リバーサルフィルムをスキャンして大きくプリントアウトする場合、300 ppi の解像度を搭載するプリンターが必要です。プレビューでリバーサルフィルムを選択し、出力事前設定として300 ppi 解像度を選択します。オプションを表示させるためにダイアログの下にある車輪をクリックします。解像度バーを右に移動させると出力の大きさをエキスパートモードで見つけることができます。ここでは、300 ppi 解像度で画像品質の損失がない状態での画像の大きさが表示できます。解像度バーを希望の画像の大きさまでさらに移動させます。出力画像の大きさと解像度は関連付けられています。解像度または出力の大きさを変更したい場合、SilverFastは自動的にそれぞれの値を適応化させます。

作業画像の解像度が分かっている場合、事前設定メニュー（プレセットメニュー）のどこにあるフィールドに解像度を入力することをお勧めします。解像度は 300 ppi、ズームは100% にしてください。マニュアルで値を入力される場合にはユーザー設定値として、事前設定メニュー（プレセットメニュー）として表示できます。スキャンの後他のプログラムで画像を開きたい場合、事前設定メニューで入力された値も表示されます。



事前設定と解像度バーで作業を進められる場合（左図）、SilverFastはデータ内のメタデータに出力解像度を設定します、これにより作業画像で開かれたプログラムは選択された出力解像度と解像度容量を表示します。解像度の値をマニュアルで入力する場合（右図）は、解像度の値はメタデータに設定されず、解像度として画像オープン時に表示されます。

どちらの場合も、同じ解像度でスキャンされた画像のために、同じ品質と同じピクセルの数で画像データが作成されます。

8 自動最適化

SilverFast には自動最適化機能を搭載しています。画像最適化をご堪能ください。

画像自動処理:

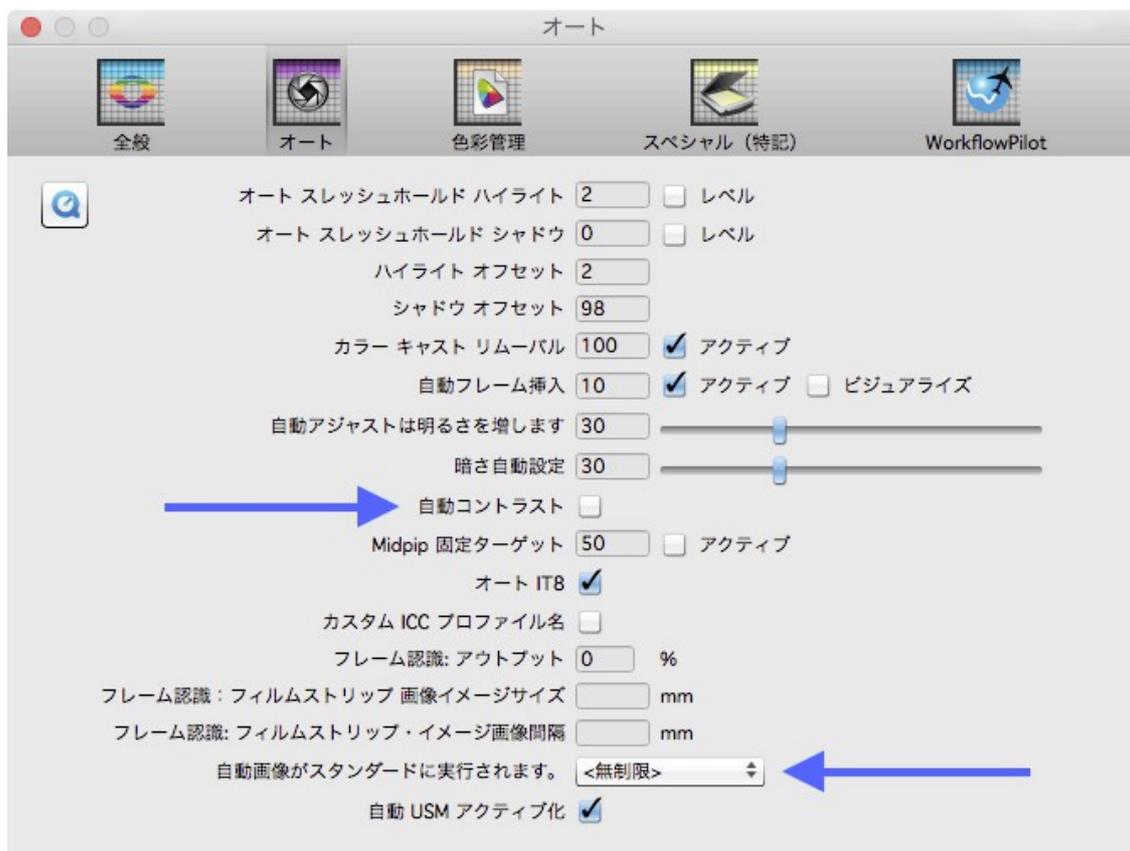
画像自動処理はプレビュー画面の上部プレビュースキャンボタンの横にある色違いのツールバーにあります。一般的な最適化処理「自動」と「自動CCR (Color Cast Removal カラーステッチ除去機能含)」が用意されています。この最適化処理は他の自動処理と同様に典型的かつ頻繁に行われる処理に対応します。画像自動処理のためにボタンを長くクリックし、作業画像を最適化したい部分で選択メニューを開いてください。この選択メニューで自動的に画像を最適化し、元の状態に戻すことも可能です。



三角の記号で追加のオプションを見ることができ、赤いポイントはツールがアクティブ化され作業の
ます。長くクリックするとアイコンから現れます。 使用可能を示しています。

画像自動処理機能はヒストグラムとグラデーションを変更し、それによりツールが開かれ、アイコンに自動
画像処理機能がアクティブだという赤いポイントが現れます。

自動画像最適化機能は標準として考えたときコントラスト値を設定しません。自動最適化機能でコントラ
スト値も考えた処理をされたい場合、オプションとして設定 > 自動 をアクティブにしてください。コントラ
ストは視覚的に鋭く感じます。作業画像がフラット過ぎでシャープでないと感じられる場合は、このコント
ラスト値を操作してください。



同様にフレーム探知機能で自動的にそれぞれの画像を個々に変更したい場合に 設定 > 自動 で画像自動作業機能を確定できます。特に JobManager (Studio Ai)で個別に画像調整をするバッチスキャンには重要事項です。

iSRDでのキズ・ホコリ除去機能:

赤外線ベースのキズ・ホコリ除去機能 „iSRD“ が追加でスキャナーに搭載されている赤外線ランプで、画像のキズ・ホコリを認知し除去します。入射光スキャンまたは赤外線チャンネルを搭載していないスキャナーでは使用できません。この機能は自動的に也使えマニュアルでも操作できます。

垂直方向のツールバーのiSRDボタンをクリックして機能をアクティブにしてください。ボタンの中央の赤いポイントはツールがオンになっていて使用されていることを指しています。

ヒント:

白黒のネガフィルムのスキャン時またはコダクロームフィルム画像のスキャン時には赤外線ベースのキズ・ホコリ除去機能は使用できません。フィルム素材内のシルバーハロゲン化物はスキャナーの赤外線に反射し、画像にブロックノイズを生成します。コダクローム画像には調節された修正処理を行ってください。

マルチ・エクスポージャー

マルチ・エクスポージャーは低露出と標準露出の光の量を合わせて画像のスキャンが出来る多層露出調節機能です。ほとんどのディアス・ネガフィルム・コダクローム画像などは高密度容量を保持し（ダイナミック・ボリュームとも言います）マルチ・エクスポージャーでまず使用スキャナーをフルでオリジナルのダイナミック・ボリュームを取り入れることができます。明暗領域の大部分のディテールを把握することができ、画像損失を減らすことができます。スキャナーはマルチ・エクスポージャーで視覚出来なくてもSilverFastが画像最適化のために使用する明確に異なるカラーグラデーションを把握します。マルチ・エクスポージャーは例えばコダクロームフィルムのような高密度のフィルムのデジタル化に重要なツールの一つです。

垂直方向のツールバーの„ME“ボタンをアクティブにしてください。赤いボタンはマルチ・エクスポージャーがアクティブであることを示しています。数種の機種ではマルチ・エクスポージャースキャンもノーマルスキャンもトランジットの役割を担います。

マルチエクスポージャーは SE Plus Ai Studio のバージョンに搭載されています。マルチ・エクスポージャーは透過光スキャンにのみ適応し、入射光モードを選択した場合は表示されません。多層露出高機能マルチ・エクスポージャーは当社の RAWデータフォーマットHDRとHDRiに搭載されており、48bitデータで大きいデータ容量に対応しています。

9 ズームと 1:1・HQプレビュー

ルーペのシンボルで個別にフレームを大小ズームできます。メニューからズーム機能を選択するためにこのボタンを長めに押してください。追加オプションもアイコンの横の小さい三角形に表示されます。

画像をマニュアルで操作し、画像自動処理で画像を最適にするためにズームされたプレビューは最低限のデータを備えています。

事前に高解像度プレビューをアクティブにした場合、新たにスキャンする必要がなく、拡大プレビューを呼び出すことができます。ズーム視覚を毎回確認する必要がなくナビゲーター内のプレビューでフレームを変更することができます。

プレビューをクリックし、フレームを引くとき、CMDキー (OSX)またはCTRLキー(Windows)を押しながら選択した画像の領域をズームしてください。

1:1 - プレビューとHQプレビュー

1:1プレビューとHQプレビュー (High Qualityプレビュー) は100%大のズーム・プレビューで開始します。(設定されたスキャン解像度でプレビュースキャンが行われるという意味です) ナビゲーター内の移動してい

る黄色いフレームまたはスペースキーを押しながら同時に左クリックを押して、プレビューで画像の一部分(オリジナルの大きさから設定解像度)が表示されます。

ほとんどのツール効果はスキャン作業での解像度として現れます。例として非鋭角マスキングの鋭角化では適用解像度に関係します。1:1プレビューとHQプレビューは完成画像の信頼性の高さと予想可能を約束します。1:1プレビューやHQプレビューは必須データをスキャナーから取り込み、直接保存できるため、この機能のために作業時間を特別にとる必要がありません。

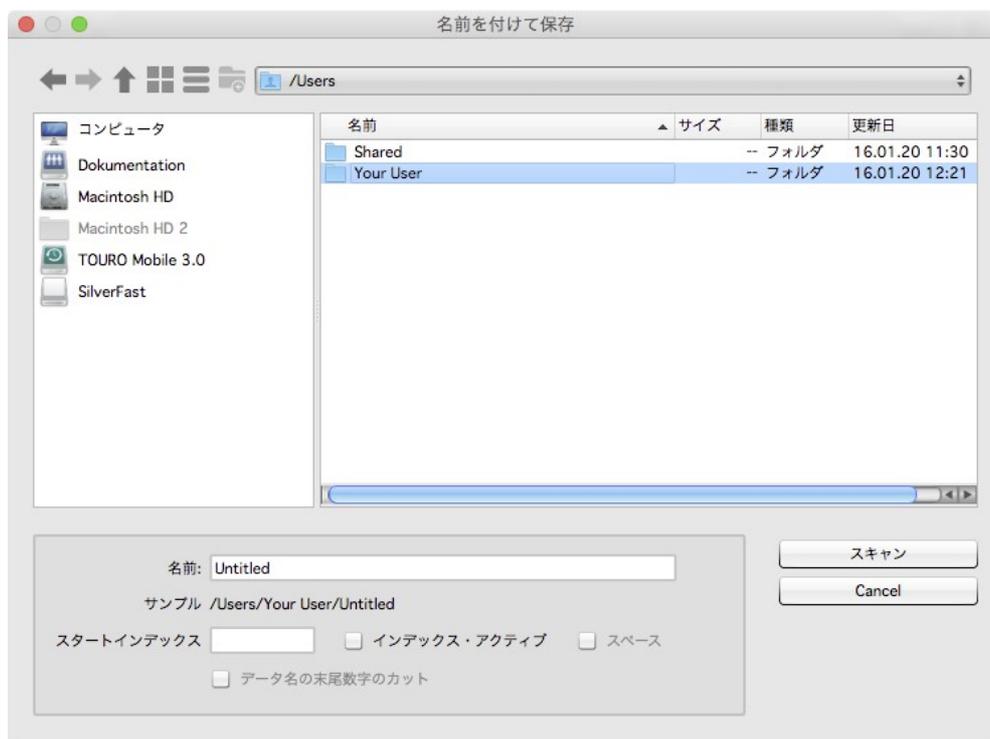
1:1プレビューとHQプレビューは画像の正確な調整を可能にします。1:1プレビューでは選択したツールが、まずナビゲータ内で選択した黄色いフレームの領域を算出します。反対にHQプレビューではツールがすぐ画像全体を計算し、黄色いフレームは新たにフィルター算出せずに動かさず。

10 スキャンとバッチスキャン

重要な設定後、本来のスキャンをスタートできます。

プレビューの水平方向のバーに2機能が隠れているスキャンボタンが表示されます。ご使用のスキャナーでバッチスキャンが可能な場合、スキャンモードの選択のために長めのクリックでメニューを開いてください。

メニューからスキャンかバッチスキャンかを選択してください。ボタンは最終的に常に現行のスキャン作業を表示し、ボタン上の短いクリックで表示されたスキャンモードをスタートします。



バッチスキャンを開始するとき、スキャンの前に自動ナンバリングダイアログをオープンしてください。
こちらでデータの名前と同様、バッチ設定の保存先が設定できます。個々のフレームのために設定した名前と保存先を保持してください。

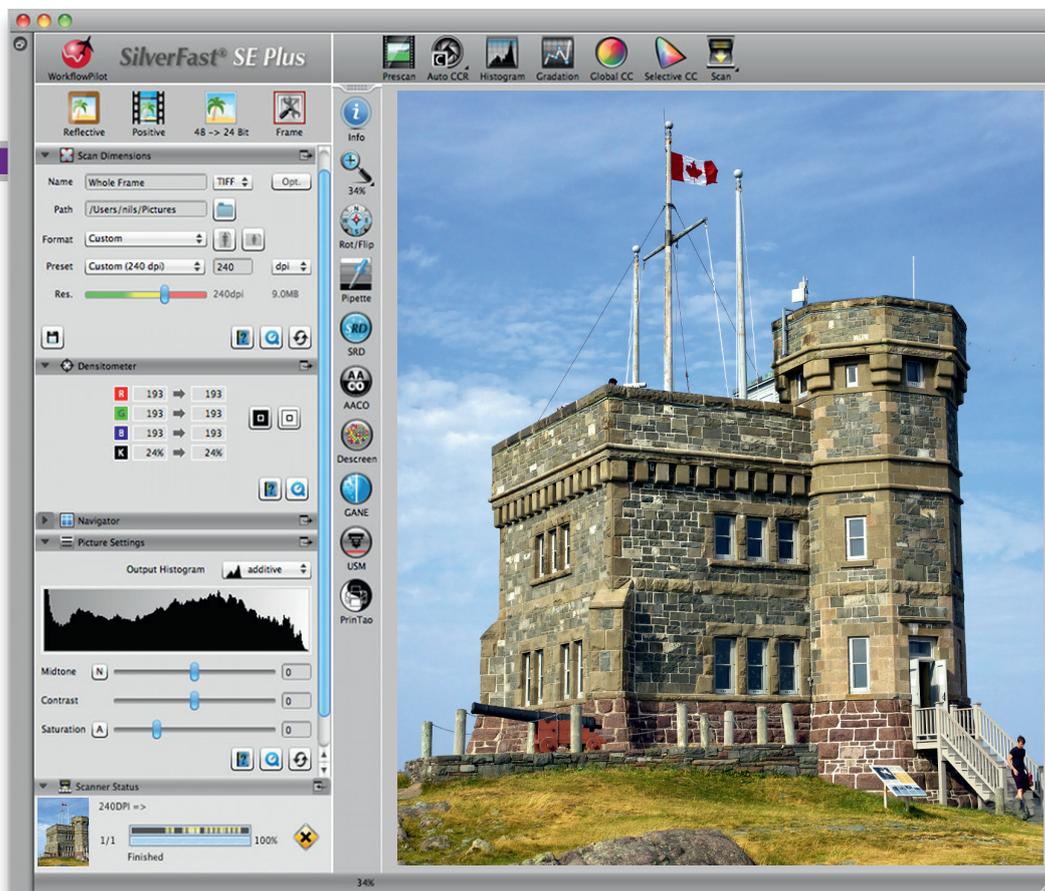
データ名を調整するためにスペース入り・ナシ名前でのインデックス（目次）を更新することができます。
作業されている画像は自動的にナンバリングされます。

ナンバリングされたデータ名の次に、番号を続けたい場合は数字も入力してください。

同様に同じ番号のデータが作成されないように、データ名の終わりの数字を切り離させることも出来ます。

ワンクリックでバッチスキャンをスタートしてください。

このガイドが当社のソフトウェアをご使用始めるにあたり、サポートとなれば幸いです。当社ソフトの様々な機能を、ご堪能いただけることを願っております。



 LaserSoft Imaging AG
 Luisenweg 6-8 • 24105 Kiel • ドイツ
 Phone: (+49) 431-56009-0
 Fax: (+49) 431-56009-96
 Support: www.SilverFast.jp/support
 Info: www.SilverFast.jp

 LaserSoft Imaging AG
 Luisenweg 6-8 • 24105 Kiel • Germany
 Phone: (+49) 431-56009-0
 Fax: (+49) 431-56009-96
 Support: www.SilverFast.com/support
 Info: www.SilverFast.com

システム環境

- SilverFast from 8.8:
- Apple® Mac OS X from 10.7
 - Microsoft® Windows 10, 8,7 or Vista (64 Bit)
 - Processor: Minimum 2 GHz
 - 4 GB of RAM (8 GB of RAM recommended)
 - 20 GB of available hard-disk space
 - 1024 x 768 display resolution
 - DVD-ROM drive or internet connection
 - QuickTime® Player, PDF Reader

System Requirements:

- SilverFast from 8.8:
- Apple® Mac OS X from 10.7
 - Microsoft® Windows 10, 8,7 or Vista (64 Bit)
 - Processor: Minimum 2 GHz
 - 4 GB of RAM (8 GB of RAM recommended)
 - 20 GB of available hard-disk space
 - 1024 x 768 display resolution
 - DVD-ROM drive or internet connection
 - QuickTime® Player, PDF Reader

*SilverFast は個々にスキャナーとオペレーションシステムに対応します。お使いのシステムおよびPCオペレーションシステムのための追加機能としてソフトウェアと将来性を以下のウェブサイトでご確認ください。
www.SilverFast.de/sf/product

*SilverFast is individually adjusted to scanners and operating systems. Please check the availability of software and features for your device and operating system at:
www.SilverFast.com/sf/product

SilverFast® と LaserSoft Imaging™ は LaserSoft Imaging AG, Germanyの登録商標です。すべての商標は占有者の商標によって保護されています。(Patents. EP 1594301, EP 1744278)

